

様式第7号（第11条関係）

介護ロボット導入効果報告書
（ 1年目 2年目 3年目 最終 ）

令和 2年 4月 27日

沖縄県知事 様

令和 元年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

住 所 南風原町字宮平499
事業主体名 有限会社寿ランド
代表者職氏名 平良 寿成



事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名	介護サービスの種別
有限会社寿ランド		通所介護デイサービスゆうらく	通所介護
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		マッスルスーツEdge	
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間
令和元年10月8日	1	令和元年9月17日	年 月 日から 年 月 日まで
【目標の達成状況】 ※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、記載すること。 主に女性職員がベッド上でのパット交換時に使用している。何度も使用し装着になれた職員は腰の負担が軽減されていることが感じられるようである。しかし、使用に慣れてきた職員がまだ3人しかいない。			
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ベッド上でのパット交換時に使用している。その日の担当職員が一日5～6回使用している。			
【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 3月に職員向けアンケートを実施。その結果、身体的負担が軽減できているとの回答が20%、一方ほとんど使用したことがない職員が約7割いた。その理由としては、使用すれば腰は楽になるが装着に慣れるまで時間がかかると答えた職員が多くいた。また、「使用効果がよく分からない」「ロボット自体が重く感じる」との意見もあった。			
【介護ロボットの不都合な点の課題】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ロボットの装着に慣れるまで時間がかかる。使用効果も何度も使用していかないとなかなか実感できない。アンケートの結果からも「機器の準備・片づけに時間がかかる」「機器の操作が難しい」「使い方の研修がもっと必要」との意見が約9割あったので、使用機会や研修を多く行い、装着に慣れてもらうようにしていく。			

※1年目の提出時には下記も作成してください

【介護ロボット本体の写真】

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



【介護ロボット使用状況の写真】

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

